

第4回利水部会検討会（2003.8.2開催）結果報告

2003.8.8 庶務発信

開催日時：2003年8月2日（土） 9：30～13：00

場 所：京都リサーチパーク 4階 AV会議室

参加者数：委員9名、河川管理者25名

1 決定事項

- ・ 第5回利水部会検討会を8月22日（金）9:30～12:30に行う。河川管理者からの提供資料については、事前に庶務から各委員に送付する。
- ・ 8/18〆切で委員は意見を提出する。

2 審議の概要

委員会および他部会の状況報告

資料1「委員会および各部会の開催状況等の報告」をもとに報告が行われた。

説明資料(第2稿)の検討について

）河川管理者からの説明と質疑応答

河川管理者より、資料2-2-1「水マネジメント懇談会提言」、資料2-2-2「利水部会からの依頼に対応する資料」について説明が行われた。説明に対して、委員から出された主な意見は以下のとおり。

- ・ 水マネジメント懇談会の提言内容は、従来通りの供給管理の視点から考えられたものであり、流域委員会の提言の理念とは大きく異なっている。
- ・ 「実力低下」という言い方はおかしい。降雨量が減っているものであり、ダムの機能が低下している訳ではない。誤解を招くのではないか。
→ 資料2-2-2は、「ダムによる供給可能量が減っている」という結論をどのような計算に基づいて言っているのかを説明したものである。（河川管理者）
- ・ ダムによる供給能力と最大取水量（実績）を比較したグラフについて、需要が供給を上回ったという見方もあるが、「過去の供給能力でも一定量の取水が出来ていた」と見ることもできる。

）委員による意見交換

河川管理者からの説明も踏まえ、部会意見とりまとめにむけた意見交換が行われた。主に、「淀川における利水面での特性把握」、「水需要の精査確認と河川管理者から提出頂くべきデータ」、「用途転換の方向性」について意見交換が行われた。

説明資料（第2稿）の利水部分の記述については、「他の分野と比べて提言との開きが最も大きい。現在の河川管理者の権限を考えると、具体的な施策を書き込むことは難しいとしても、理念や考え方の部分で水需要管理をめざす方向性を打ち出すべき」という意見が出された。

<河川管理者への依頼事項>

- ・ 次回部会検討会にて、現在把握している各水道事業者の水需要予測値と予測根拠を1、2事例提出頂く。

以上

このお知らせは委員の皆様にご会議の結果を迅速にお知らせするため、庶務から発信させて頂くものです。審議の主な内容については「結果概要」を参照下さい。